

☆☆ くらしポウイズ NEWS LETTER ☆☆



発行：一般社団法人くらしサポート・ウイズ
東京都新宿区大久保 2-3-4 出光新宿ビル 4階
TEL:03-6205-6719 FAX :03-3200-6134
<http://www.kurashidial.or.jp/>

3月は、お子さんが学生の家庭にとって終業式、卒業式、春休み等なにかと、せわしない月です。さて、4月から新学期を迎えるにあたり、今月は教育費について少し考えてみましょう。

▲国公立校に進学した場合の全学費金額

<小学校 193 万+中学校 143 万+高校 135 万+大学 (4 年間) 259 万=約 730 万円>

参考：文科省「子供の学習費調査 (平成 28 年)」 JASSO「学生生活調査 (平成 26 年)」

これは約 16 年間公立校に進学した金額で、私立に入学すればもっとかかります。

例えば私立の中高一貫校に通うと、公立より年間約 80 万円以上多くかかるようです。

また、教育費は学費だけではありません。例えば・・・



▲塾に通う→高校受験の場合、公立中学 3 年間の総費用 約 200~300 万円。

大学受験の場合は、選択する科目数によっても違いますが、1 年間約 50~100 万円。

▲大学で下宿する→子どもに毎月 10 万円仕送りすると、4 年間で 480 万円。

その他、制服代、クラブユニホーム、修学旅行、留学費用も場合によっては必要になります。

そしてこれは 1 人分の教育費です。子どもの数が増えれば 2 倍・3 倍になります。

以上、子どもが大学に行くと考えた場合、子ども 1 人に対し 1,000 万円位の準備が必要です。

教育費は毎月の家計費から賄うのが難しいのですが、必要な時期が前もってわかるので計画は立てやすく、できるだけ計画的に貯蓄していくことが大切です。

一番の貯めどきは子どもが中学生くらいまでです。しかしこの時期は人生の三大出費の「住居費 (住宅ローン)」の支払いと重なる可能性もあります。

<ちなみに人生の三大出費→『住居費』『教育費』『老後の生活費』>



「**早めに準備**」が最大のポイントです。

ただ、それでも準備が間に合わなかった場合は、日本学生支援機構の奨学金 (給付・貸与)、地方自治体や大学独自の奨学金、公的教育ローン、民間教育ローンを利用する方法もあります。詳細は、『くらしの相談ダイヤル』にお問い合わせください。もちろん他の『住居費』『老後の生活費』についてのご相談もお待ちしております。

今さら聞けない・・・くらしの悩みなどなたでもお気軽に相談できます。

専門相談員が対応 平日 10 時~16 時

くらしの相談ダイヤル 0570-055-656 (ナビダイヤル)

03-6205-6720 (ナビダイヤルで通じない時)

弁護士による無料電話法律相談、精神保健福祉士の電話福祉相談も実施しております。

(詳細は『くらしの相談ダイヤル』にお問合せください。)